

## 国家戦略特区ワーキンググループ ヒアリング（議事要旨）

---

### （開催要領）

- 1 日時 令和4年9月26日（月）15:57～16:09
- 2 場所 永田町合同庁舎7階特別会議室等（オンライン会議）
- 3 出席

#### <WG委員>

- 座長 中川 雅之 日本大学経済学部教授
- 座長代理 落合 孝文 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 プロトタイプ政策  
研究所所長・シニアパートナー弁護士
- 委員 阿曾沼 元博 順天堂大学客員教授  
医療法人社団混志会 社員・理事
- 委員 堀 天子 森・濱田松本法律事務所 パートナー弁護士
- 委員 安田 洋祐 大阪大学大学院経済学研究科教授

#### <関係省庁>

- 日野 祥英 国土交通省自動車局貨物課長

#### <事務局>

- 淡野 博久 内閣府地方創生推進事務局長
- 山根 英一郎 内閣府地方創生推進事務局次長
- 三浦 聡 内閣府地方創生推進事務局審議官
- 菅原 晋也 内閣府地方創生推進事務局参事官
- 曾我 明裕 内閣府地方創生推進事務局参事官
- 内田 康太郎 内閣府地方創生推進事務局参事官補佐

### （議事次第）

- 1 開会
- 2 議事 過疎地域等における貨客混載の実施に係るニーズの把握
- 3 閉会

---

○事務局 それでは、国家戦略特区ワーキンググループヒアリングを開始いたします。

本日の議題は「過疎地域等における貨客混載の実施に係るニーズの把握」ということで、国土交通省、内閣府に御出席いただいております。

本日の資料は、国土交通省、内閣府から御提出いただいております。公開予定です。本日の議事についても、公開予定です。

本日の進め方ですが、まず、国土交通省、内閣府から5分程度で御説明をいただき、その後、委員による質疑応答に移りたいと思います。

それでは、中川座長、議事進行をお願いいたします。

○中川座長 お忙しい中、御出席ありがとうございます。

国土交通省、それから内閣府からの御説明を、まず、いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○菅原参事官 まず、内閣府地方創生推進事務局参事官の菅原のほうから、御説明させていただきます。資料の2ページをお開きください。この貨客混載について、今回ニーズ調査を実施する経緯、背景等についての御説明でございます。

昨年4月のスーパーシティの指定に関する公募に際して、複数の地方公共団体から、貨客混載の実施に係る提案がございました。

このうち、長野県の茅野市からは、タクシーによる医薬品の貨客混載運送といった提案がございまして、これについて国家戦略特区ワーキンググループ等で議論を行っていただきました。

その後、今年の3月10日の国家戦略特区諮問会議において、記載のとおり、追加規制改革事項として決定されておりました。読み上げますと、特にその一般乗用旅客自動車運送事業等は、一部の過疎地域において認められているといった現行制度がございまして、そういった現行制度下ではカバーできない具体的なニーズ等について調査を行い、その結果を踏まえて対応を検討し、今年度中に結論を得るといったことが記載されております。

こういった決定を踏まえまして、私ども内閣府と国土交通省の連携のもとで、予算も活用して調査を実施できればと考えておりますけれども、下線部に記載のとおり、地方部の市町村における貨客混載の実施に係る具体的なニーズ等を把握するための調査を行えればと考えております。

以後の説明は、国土交通省からよろしくお願いします。

○日野課長 国土交通省の貨物課長の日野でございます。資料の3ページを御覧ください。

ニーズ調査の今後の進め方でございますけれども、今月、来月ぐらいにかけて、過疎法の過疎地ではない全ての市町村に対しまして、プレアンケート調査を行います。11月を目途に、そのプレアンケート調査の結果を踏まえまして、もう少し具体的な実施計画について掘り下げた調査を行いたいと思っております。

年度内に、このアンケート調査の結果を踏まえまして、対応を検討して結論を得たいと思っております。

来年度、結論を踏まえまして、必要な措置を講じたいと思っております。

以上でございます。

○中川座長 ありがとうございます。

国土交通省、内閣府からの御説明は、以上でよろしいですね。

それでは、委員の皆様のほうからコメントあるいは御質問をいただきたいと思っております。

いかがでしょうか。

堀委員、お願いします。

○堀委員 ありがとうございます。

御説明いただきまして、内容を拝見しておりますけれども、3ページ目の令和5年度、必要な措置を講じるというようなことが記載されておりますが、現時点でどのような措置を検討されているのかということについて、お伺いできればと思います。

○日野課長 ありがとうございます。

現時点では、一定の結論は出ておりませんので、この段階ではお答えできませんけれども、アンケート調査の結果、あるいは関係者の意見を聞きまして、必要な措置を講じていきたいと思っております。

○堀委員 今いただいている資料の中でも、一定のニーズは確認されているのかなと思っております。今までの御議論で出てきているものとはまた別に、一からニーズ調査をするということになるのでしょうか、ある程度方向性も踏まえて、地域を確認するためのアンケート調査ではないのでしょうか。進め方が、やや時間軸も含めまして、詳細化していくタイミングが遅れてしまうといけないなと思われましたので、御検討されていることがもしあれば、お伺いしたいなと思った趣旨でございます。

○日野課長 ありがとうございます。

今までもいくつかの市町村から、過疎地域ではないけれども、貨客混載をやりたいというニーズはいただいております。我々としては、それが、ごく一部の市町村なのか、あるいは全国で結構ニーズとしてはあるのか、そういう調査を、やってみたいなと思っております。内閣府と連携してこういう調査をして、それを踏まえて必要な措置を考えていきたいと思っております。

○堀委員 繰り返しになってしまいますが、スーパーシティの提案があった自治体では、既に具体的なニーズが確認されていると伺っておりますので、必要な措置ということを一から検討するというよりは、もう少し前倒しで御検討いただいたほうがいいのかと思った次第です。

いずれにせよ、早期の実現に向けて、必要性の高いところから進めていただくということをお願いしたいと思います。

○日野課長 ありがとうございます。承知いたしました。スピード感を持って検討していきます。

○中川座長 落合委員、お願いします。

○落合委員 御説明ありがとうございます。

私のほうも、まず前向きに調査を含めて実施していただけるということは、非常にありがたいなと思っております。一方で、必要な措置の内容を明確化することは、やはり重要であろうと思っております。

どうしてもこのテーマについては、既存の物流関係の事業者との調整が難しくなるとい

うところもございます。一方で、かなり強いニーズが様々な自治体から出されているテーマだと思っております。今後、人口減少であったり、過疎化が進んでくる地域というのは、特定の地域に限らず、広くなってくるかと思えます。より一層ニーズが高まってくることも考えられると思えますので、物流事業者のほうに寄り過ぎたような要件にならないように、是非御検討いただけないかと思っております。

以上です。

○日野課長 ありがとうございます。

まさに全国のニーズを調査して、それを踏まえまして、関係者ともよく意見調整をして、考えていきたいと思えます。ありがとうございます。

○中川座長 阿曾沼委員、お願いします。

○阿曾沼委員 御説明ありがとうございます。

ニーズの調査、集計、それによる結果を出していくというプロセスは、ある意味、非常に重要だと。それに基づいて議論をしていくのも当然重要だと。

ただ、私は今後、特区というものを活用して、アンケートによるニーズ調査と併せて実証実験をして、実証の場での評価を併せて、総合的に評価をし、検討して、報告書を出していくということが必要であると考えています。アンケートが終わってからでないといけないというプロセスではなくて、同時並行的に走らせるということを御検討いただけると、よりスピード感を持ってできると思えます。

全国一律の仕組みというのは、当然必要でありますけれども、地方特性でのオーダーメイドな対応も必要だと思います。いかがでしょうか。

○日野課長 ありがとうございます。承知しました。

アンケート調査と並行して、制度の検討を進めていきたいと思っております。

また、実証実験みたいな話が、今、ございましたけれども、これは、元々過疎地では、もう既に貨客混載は行われていますし、また、乗合につきましては、全国でできるようになっていますので、実験するほどのものでもないのかなと思えますので、必要な措置を講じて、すぐ施行という形にしたいかなと思っております。

以上でございます。

○阿曾沼委員 ありがとうございます。

○中川座長 ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。すみません、委員の先生方と国土交通省のやりとりをお伺いしていて、ちょっとあまりにも紋切り型と言いますか、お答えできないところがあるのかもしれないかもしれませんが、私は役人をやっていたので、こういう答え方をするかもしれないなと思ながらも、あまりにも何も決まっていないということで終始しているような感じも、最初は受けたのですけれども、最終的に色々な先生方とのやりとりを聞いていて、おそらく前向きにお進めいただいているのだというような感じは伝わってきております。

そういう意味で、やはり既にスーパーシティの提案の中で3地域の手が挙がっております。

すし、それから、それぞれの提案の内容は、かなりもつともだなと思うような部分がございます。

過疎地域というような仕切りでは、かなり漏れている部分があるということで今回手が挙がってきたということで、その提案自体、私は相当合理性があるものだというような気がしております。

そういう意味で、まさに他の委員から御指摘ありましたように、アンケート調査を待つて色々な措置を検討するというのではなくて、スピード感を持って検討を進めていただきたいということと、それから様々な方々と調整が要するというのは、それはそのとおりにかもしれませんけれども、まさに今回、茅野市を始めとして3地域から上がっている提案というのは、住民も困っておりますし、それから旅客事業者自身もかなりお困りになっていて、維持可能性を高めるという意味では相当必要なことだと思いますので、その部分につきましては、かなり明確な客観的な基準でかなり広めにやれるような、そういうような措置をお願いしたい。あるいは何らかの調整プロセスが必要だとしても、物流事業者さんのほうで協議会を持つような、そういうようなスキームというのは、少し御遠慮願いたいと私は感じました。

そのような形で、内閣府、それから国土交通省が協働したアンケート調査、それから検討の進捗を強く期待したいと思います。

事務局から何かございますか。

○菅原参事官 特にございません。

○中川座長 それでは、国土交通省、内閣府、どうぞよろしく申し上げます。

○日野課長 どうもありがとうございました。

○中川座長 それでは、この件につきましてのヒアリングは終了したいと思います。